

12. 協力者・執筆者一覧

1 資料提供・インタビュー協力者 (敬称略；2021年1月15日時点)

【信用生協関係者】

上田 正 (うえだ・ただし) 信用生協 元専務理事、生活相談・貸付事業アドバイザー
1954年生まれ。1976年東北大学経済学部卒。1976年盛岡市民生協（現いわて生協）入協。その後、岩手県生活協同組合連合会、岩手県消費者団体連絡協議会の事務局長を経て、1996年信用生協に入組、業務部長を経て2006年統括マネージャー。2008－2012年専務理事。2013－2018年日本生活協同組合連合会福祉事業推進部生活相談・貸付事業アドバイザー。2018年信用生協生活相談・貸付事業アドバイザー（非常勤嘱託）。

亀澤 和重 (かめさわ・かずしげ) 信用生協 元専務理事

1994年4月入組。相談員を6年間務めた後、主に経理財務を担当。2012年8月常勤理事兼総務部長、2014年8月専務理事に就任。2020年8月に退任。

船ヶ澤 堅一 (ふながさわ・けんいち) 信用生協 専務理事

1999年4月入組。相談員としていくつかの事務所を経験。債権管理を専属で扱う生活支援室の新設とともに担当した。2014年8月常勤理事兼相談貸付部長に就任。相談業務と審査と債権回収を担当。2020年8月に専務理事に就任。

八重畑 努 (やえはた・つとむ) 信用生協 常勤理事 兼 総務部長

1996年信用生協に就職。信用生協のシステム開発として採用された。

社内でシステムを開発した。2010年に相談員となり北上事務所に異動した。翌2011年に東日本大震災が起きた。2011年に青森事務所の開設に伴い青森事務所に異動した。さらに2012年から生活支援室に異動した。相談貸付を続け、6・7年くらい前に総務に異動して現在に至る。2012年に常勤理事になった。

横澤 善夫 (よこさわ・よしお) 信用生協 元理事長

1950年岩手県生まれ。1974年岩手県民共済会に就職。1978年信用生協に出向。その後業務部長。1989年消費者救済資金制度創設、1992年常務理事、1994年専務理事。2006年専務理事を退任。2007年1月生活サポート基金専務理事、2009年同理事東京都事業部長。2007年1月生活サポート生協・東京常務理事。2012年8月信用生協専務理事。2014年8月同理事長。2016年8月理事長退任。

矢神 章男（やがみ・あきお） 岩手県交通労働組合元執行委員長、信用生協元理事長

1939 年生まれ。岩手中央バスに入社。中央バス労組執行委員、労組の合併後は岩手県交通労組の執行委員、書記長、執行委員長を歴任した。2007～2008 年度に信用生協理事。2009～2012 年度に信用生協理事長。

藤井 禎勝（ふじい・よしかつ） 盛岡市消費生活センター元所長、信用生協元理事

盛岡市役所企画部長として、信用生協の預託金の確保に尽力した。2003 年、定年退職とともに、盛岡市消費生活センター所長に就任し、3 年間、悪質商法や多重債務の相談・啓発・予防に努めた。2010～2012 年度に信用生協理事。

松木 史子（まつき・ふみこ） 信用生協 広報企画室長 兼 盛岡事務所長

2001 年 11 月入職。盛岡事務所の相談員として入り、現在も相談員を続けている。前職は銀行員。2015 年 6 月に盛岡事務所長。2016 年 2 月相談貸付課長兼盛岡事務所長。2019 年 4 月に広報企画室長兼盛岡事務所長となり現在に至る。

京極 恵美（きょうごく・えみ） 信用生協 北上事務所長

2007 年 1 月信用生協に入組。一関事務所相談センターの嘱託（フルタイム）職員（事務補助）。2009 年 1 月から相談貸付を担当。2012 年 9 月北上事務所に異動。2013 年 7 月北上事務所長となり現在に至る。

高田 千枝子（たかだ・ちえこ） 信用生協 元釜石事務所長

2001 年 12 月信用生協入組。釜石事務所にて相談員を務める。2009 年釜石事務所長。2012 年に定年退職後、ただちに嘱託相談員として再雇用、2017 年 3 月末に退職。

福山 芳伸（ふくやま・よしのぶ） 信用生協 釜石事務所長

2004 年 4 月信用生協入組。盛岡事務所で相談貸付を担当。2006 年 12 月北上事務所に移動。2008 年 10 月生活サポート基金に出向。2009 年 7 月信用生協に戻る。2009 年 7 月北上事務所、2009 年 9 月盛岡事務所、2014 年 6 月北上事務所、2017 年盛岡事務所にて相談貸付を担当。2019 年 3 月に釜石事務所長となり現在に至る。盛岡事務所と釜石事務所の兼務。

大石 和子（おおいし・かずこ） 信用生協 八戸事務所長

2016 年 7 月信用生協に入組。八戸事務所で相談貸付を担当。2017 年 12 月から家計改善支援員を兼務。2018 年 9 月に八戸事務所長となり現在に至る。

神 育子（じん・いくこ） 信用生協 青森事務所長

2008年5月信用生協に入組。盛岡事務所の生活支援室にて主に督促業務に従事。2010年7月退職。2011年、青森事務所の開設とともに2011年に事務職として再入組。2013年に再び退職した。2016年10月再入組して受付事務に従事。2018年2月に相談員。2019年6月に青森事務所長となり現在に至る。

藤澤 俊樹（ふじさわ・としき） 信用生協 いわて生活者サポートセンター元事務局長

2003年信用生協に入組。2009年にいわて生活者サポートセンターと兼務。信用生協においては総務マネージャーや生活相談推進室長、法令遵守推進室長など。いわて生活者サポートセンターでは事務局長。2013年に、いわて生活者サポートセンターの業務に専従。2018年3月信用生協を退職し、社会福祉法人に転職。2019年5月いわて生活者サポートセンターの解散に伴い、同センター事務局長を退任。

蒲沢 薫（かまざわ・かおる） 信用生協 総務部財務経理係長

1999年信用生協に就職。最初は相談貸付の経理業務。その後相談員、システム開発・運営・ウェブ、広報部門、新規事業のサポートを経て、現在は信用生協本体の経理・財務に移って現在に至る。子会社のCFCのビル管理の経理もあわせて担当している。

鹿野 英良（かの・ひでよし） 岩手県民共済会元事務局長、信用生協元事務局次長

総評・全国一般労働組合（通称：合同労組）結成時（1958年）初代書記長。翌年、合同労組の副委員長（専従）。1975～1986年、岩手県民共済会（現在の一般財団法人ハピネス共済会）の事務局長を務め、その後は関連会社の「ほくしん」代表取締役。

吉田 直美（よしだ・なおみ） NPO法人くらしのサポーターズ理事長

1967年盛岡市生まれ。2016年東北福祉大学社会福祉学部卒。1990年盛岡市職員となり、主に消費生活行政に携わる。2002年盛岡市消費生活センターに着任（相談支援業務及び悪質商法対策、多重債務者対策等の施策形成を担当）。2010年6月保健福祉部生活福祉課主査で盛岡市役所を退職後、岩手弁護士会事務局長を経て、2011年これからのくらし仕事支援室長（NPO法人いわて生活者サポートセンター パーソナル・サポート事業部長）、その後NPO法人くらしのサポーターズ副理事長を経て現在同理事長。内閣府第2次消費者委員会委員などを歴任。

中川 由美子（なかがわ・ゆみこ） 信用生協 元職員

1970年信用生協に就職。職員が1人だったため、業務全般を担当。家族の事情により、1979年に退職。

小渡 章好（こわたり・のぶよし） 信用生協 理事

元八戸大学・八戸短期大学総合研究所副所長・教授。元八戸市中心商業街区活性化協議会会長。元青森県生協連理事を経て、現・コープあおもり特定監事。八戸市での信用生協設立に尽力。現在、信用生協理事を務める（2010.8～2012.8、2016.8～現在）。

【他団体】

石橋 乙秀（いしばし・おとひで） 弁護士

1982年弁護士登録、岩手弁護士会所属。こずかた（不來方）法律事務所所属。2000年度および2010年度に岩手弁護士会会長。岩手弁護士会災害対策本部本部長、岩手弁護士会消費者問題対策委員会委員長、東北弁護士会会長を歴任。信用生協の顧問弁護士、いわて生活者サポートセンター理事長を務めた。

渡邊 淳（わたなべ・じゅん） みやぎ生協くらしの安心サポート部くらしと家計の相談室長

1988年みやぎ生協入協。最初は学校生協の学校部に配属され学習塾を担当。次いで新規事業担当に配属され、サービス事業のあっせんを手掛ける。2012年に相談貸付プロジェクトを始めた際に配属され、プロジェクトの事務局として準備を始めた。2013年総代会で合意を得て2013年9月に相談貸付事業を開始し、総代会後は相談室長。

佐藤 久男（さとう・ひさお） 特定非営利活動法人蜘蛛の糸 理事長

2000年（株）秋田不動産情報センター倒産で会社資産と個人資産のすべてを失う。一年半のうつ病、自殺の衝動を乗り越える。2002年、知人の経営者の自殺を契機に、経営者と家族の自殺を防止する特定非営利活動法人蜘蛛の糸を設立し、自殺予防の相談活動を行う。社会福祉法人秋田福祉協会副理事長。

山屋 理恵（やまや・りえ） 特定非営利活動法人インクルいわて 理事長

盛岡市消費生活センター相談員、いわて生活者サポートセンター（パーソナルサポートサービス事業）相談員を経て、2012年インクルいわてを設立し理事長に就任、現在に至る。子ども食堂を運営するほか、岩手県・盛岡市の受託事業を行っている。子ども食堂の運営団体でつくる「子どもの居場所ネットワークいわて」の共同代表。

高橋 均（たかはし・ひとし） 一般社団法人ワークルール検定協会 副会長

1990年観光労連委員長、1995年レジャー・サービス連合副委員長、2003年連合副事務局長、2007年労働者福祉中央協議会（中央労福協）事務局長、2011年中央労福協参与。その後中央労福協アドバイザー。2014年ワークルール検定協会設立とともに同専務理事、その後副会長。

関根 正道（せきね・まさみち） 埼玉勤労者生協 理事長

1962年、埼玉県勤労者生活協同組合（埼玉生協／ユーアイコープ）入職。1978年10月常勤理事、1985年常務理事、1991年専務理事、1999年理事長。

白井 康彦（しらい・やすひこ） 元中日新聞記者

元中日新聞生活部編集委員。退職後はフリーライター。貧困問題と生活保護問題を長く取材してきた。生活保護費大幅削減の偽装を暴くというウェブサイトを立ち上げ、物価偽装問題を訴えている。

村上 彰一（むらかみ・しょういち） 生活クラブ連合会専務理事

生活クラブ生協・東京の専務理事を務める。2020年6月に生活クラブ生協連合会専務理事に就任。信用生協の横沢善夫氏や藤田愛子氏らとともに生活サポート基金の設立に尽力。一般社団法人生活サポート基金理事（～2021年2月）。

津田 祐子（つだ・ゆうこ） 特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと 副理事長

生活クラブ生協千葉において組合員理事、組合員事務局、組合員事務局長、副理事長を経て2007年任意団体「多重債務問題研究会」に専任事務局に就任。2009年より特定非営利活動法人VAIC コミュニティケア研究所専務理事 2009年～2016年、副理事長（2016年～現在）。担当業務として相談業務に従事。VAIC コミュニティケア研究所は2020年にコミュニティケア街ねっとに改称。

藤田 愛子（ふじた・あいこ） 生活サポート基金 前理事長

生活者ネットワーク所属の東京都議会議員を3期12年務める。村上彰一氏らとともに生活サポート基金の設立に尽力し、設立後は生活サポート基金理事長に就任した（2011-2018年）。

山際 淳（やまぎわ・あつし） 日本生活協同組合連合会福祉事業推進部

1984年日本生活協同組合連合会に入協。2009年に福祉事業推進部長となる。2012年より厚生労働省・社会保障審議会介護給付費分科会委員、介護保険部会の民間介護事業推進委員会代表委員。2010年以降、日本生協連による情報システムの構築や研究会の開催など、生協による相談・貸付事業の普及に携わっている。

2 執筆者

角崎 洋平 (かどさき・ようへい) 担当：第1章第4節(共著)、第2章第1節・第3節
日本福祉大学社会福祉学部 准教授

2013年立命館大学大学院先端総合学術研究科一貫制博士課程修了。博士(学術)。国民生活金融公庫、日本学術振興会特別研究員などを経て現職。主著に『マイクロクレジットは金融格差を是正できるか』(ミネルヴァ書房、分担執筆、2016年)、『福祉+α^⑨ 正義』(ミネルヴァ書房、分担執筆、2016年)等。

佐藤 順子 (さとう・じゅんこ) 担当：第2章第2節

佛教大学福祉教育開発センター 専任講師

京都市役所福祉事務所生活保護現業員、児童相談所児童福祉司、病院医療ソーシャルワーカーなどを経て2000年より現職。主編著に『マイクロクレジットは金融格差を是正できるか』(ミネルヴァ書房、2016年)、『フードバンカー世界と日本の困窮者支援と食品ロス対策』(明石書店、2018年)。

小関 隆志 (こせき・たかし) 編者 担当：第1章、第2部

明治大学経営学部 教授

1999年一橋大学大学院社会学研究科後期博士課程修了。博士(社会学)。2001年に明治大学経営学部専任講師。同准教授を経て、2019年に現職。専門はソーシャル・ファイナンス論、NPO経営論。主著に『金融によるコミュニティ・エンパワーメント』(ミネルヴァ書房、2011年)、『生活困窮と金融排除』(編著、明石書店、2020年)。